

確かな情報で幸せづくりを応援します。

Q この会社を選んだきっかけは？

A 新潟のためになる仕事がしたいと思い、会社見学の際に「ここだ！」と直感的に感じました。

Q 入社して良かったことは何ですか？

A 街のすてきなお店や取り組み、頑張っている人、地域の課題など、多くの情報を得られることです。

Q 将来の夢や将来像はありますか？

A 子どもたちや若い世代に「新潟っていいな！」と思ってもらえる、契機になるような仕事がしたいです。



MY Favorite
午後のおやつ

集中力が切れたときのために、机にお菓子を忍ばせています

Q & A

社員に質問。

Q この会社を選んだきっかけは？

A 「新潟のためなら何でもできる企業」と感じたからです。新聞発行も多彩な企画展開も魅力でした。

Q 入社して良かったことは何ですか？

A あらゆる業界や立場の方と会えることです。積み上げてきた信頼と実績があってこそだと感じます。

Q 将来の夢や将来像はありますか？

A 多くの方に新潟日報のファンになってもらえるよう、新しい分野にも積極的に挑戦していきたいです。



MY Favorite
公園

休みの日は家族で公園に行き、リフレッシュしています



情報発信で新潟を
より良い街に。

小林 夕夏

柏崎総局 記者
2021年入社

上越市出身
新潟大学卒業
高田高校卒業



「出会い」を通じて、
充実した毎日をご過ごしています。

植木 公啓

ビジネス局 地域ビジネス部
2012年入社

新潟市出身
新潟大学卒業
新潟南高校卒業

高校生の
みなさんへ

書を捨てよ、
町へ出よう

高度経済成長期の1967年、寺山修司は挑発的なタイトルの評論集を世に問いました。一見すると、自身の書をも否定してしまうかのように映るメッセージは時を超えて、光を放ちます。「世界に飛び出し、個性を磨こう。知見を深めよう。感染禍の今、堂々と「町へ出る」ことをためらうかもしれませんが。大丈夫。想像力があります。思いを巡らせ、思索の彼方へ。今しかない感性を大切に、今を楽しみましょう！

 **新潟日報社**

事業内容 | 日刊新聞の製作、発行およびニュースサイトの管理、運営が事業の中心です。正確で役に立つ情報を新聞や広告、イベントなどの商品に変えて、「人」と「時」と「幸せ」をつなぐ総合情報企業です。全業務を通じて新潟県民の皆さんの暮らしが豊かになるようお手伝いをします。

本社 | 〒950-8535 新潟市中央区万代3丁目1番1号

連絡先 | 025-385-7157

